

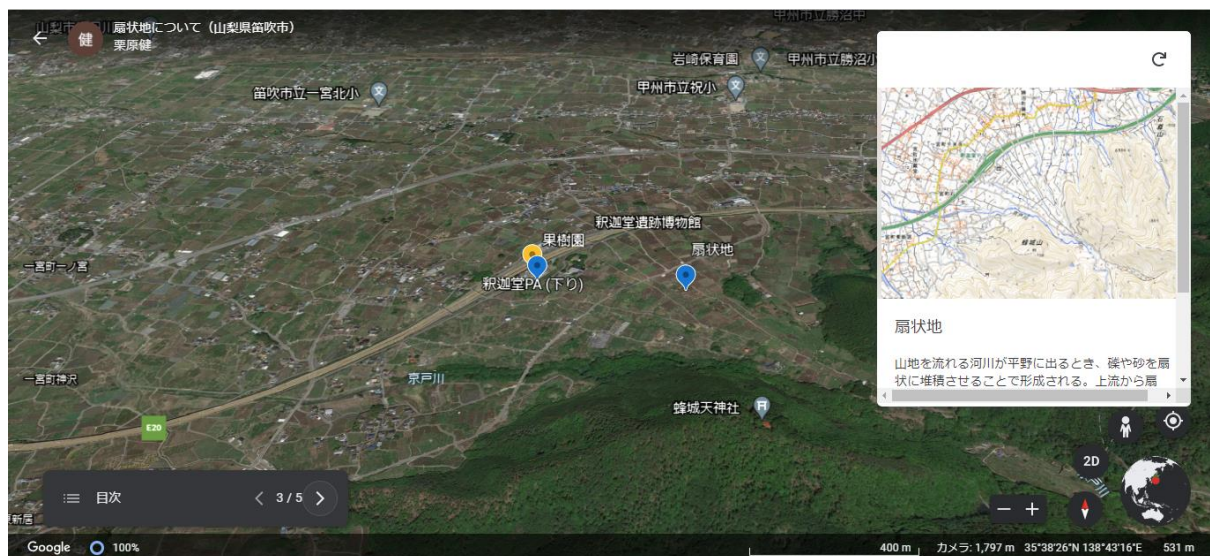
Google Earth（web版）のプロジェクト機能を使った教材作成 （2021年6月）

Google Earth（web版）のプロジェクト機能を使って、以下のようなプレゼンテーションを作成します。

サンプル：扇状地について（山梨県笛吹市）

<https://earth.google.com/earth/d/1f0h7U19qm1iotnII5ZYEGimEeUYElbHi?usp=sharing>

* 埼玉県の先生へ：仕様変更により、職員室のPCからもアクセスできるようになりました。



Google Earthの画面と、任意の画像や説明を組み合わせることで、視覚的に理解しやすい教材を作成することができます。

web版が利用できる環境

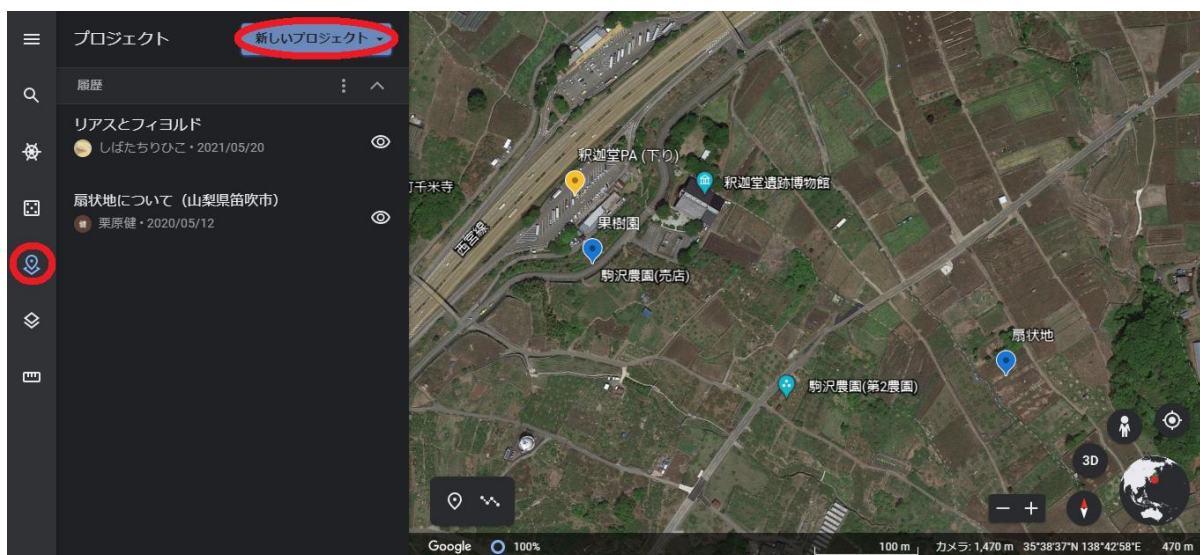
アドレス：<https://earth.google.com/web>

ブラウザ：**Google Chrome 67（推奨）**、Firefox 63、Edge 79、Safari 11

* Internet Explorerには対応していません

* スマートフォンでの利用にはアプリ版のインストールが必要です
（プロジェクトは閲覧のみ）

1. プロジェクトの作成



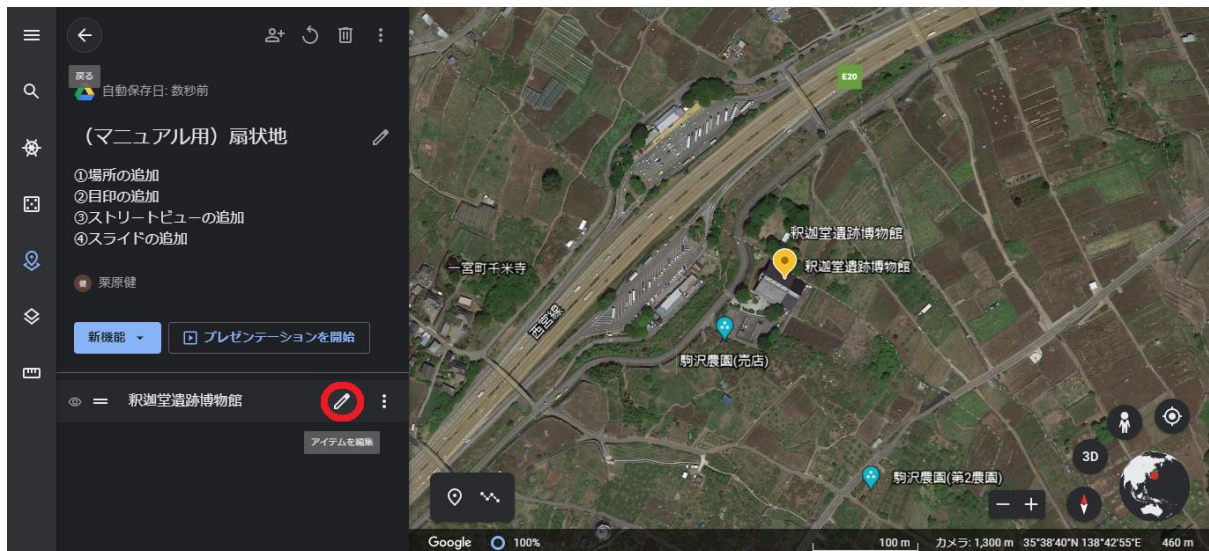
左のアイコンからプロジェクトを選択し、「新しいプロジェクト」→「Googleドライブでプロジェクトを作成する」を押します。Googleアカウントにログインしていない場合、ログインが求められます。webで共有するためにはログインが必要です。

無題のプロジェクトが作成されますので、クリックして任意のタイトルと説明を入力します。

2. 場所の追加



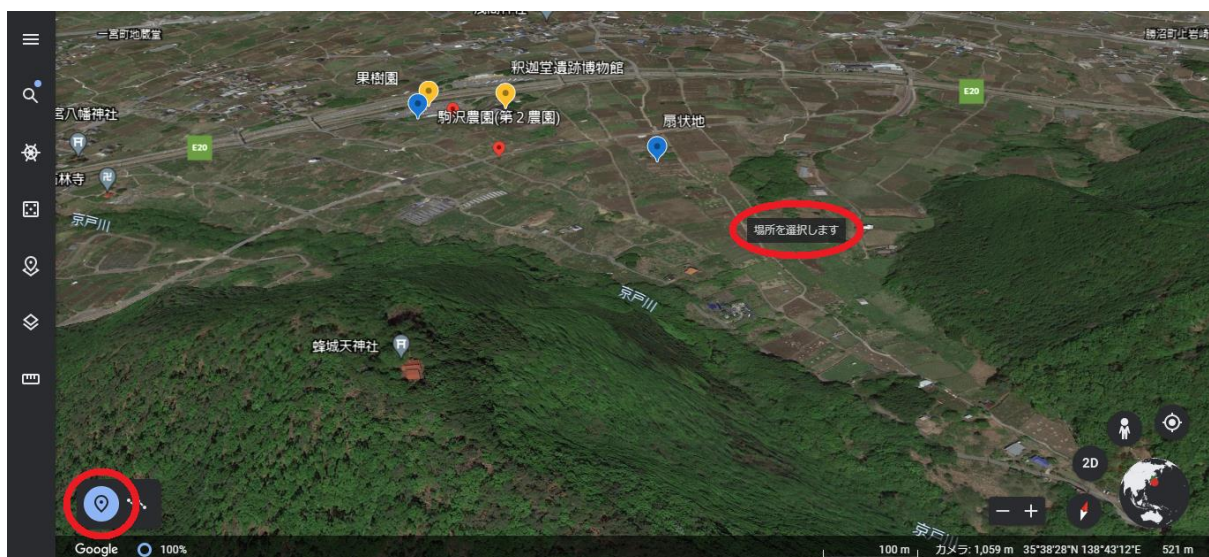
左のアイコンから検索欄を出し、目的の場所が見つかったら「プロジェクトに追加」で保存します。はじめからウィキペディアの説明や画像が入っているものもありますが、自分で変更することも可能です。



場所一覧の右にあるペンマークで編集に入り、「置換」を押すと独自の画像や説明を入られます。冒頭のサンプルでは「地理院地図」の地形図をスクリーンショットして保存し、画像としてアップロードしました。画像は自分のものだけでなく、画像検索やYouTubeからの引用もできます。

以降の作業で、左側のプロジェクトメニューが邪魔になるときは、左にあるプロジェクトのアイコンを押すことで隠すことができます。

3. 目印の追加



検索した場所だけでなく、任意の位置・角度を「目印」として保存することもできます。マウスの左ボタンで画面を引っぱると位置を調整できます。Shiftキーを押しながらその動作を行えば角度も調整できます。ズームイン・ズームアウトは、マウスのホイールか右下の+-ボタンを使います。目印を保存するときは左下のボタンを押し、目印をさす場所を選択します。上の例では、扇状地を俯瞰した目印を追加しました。

4. ストリートビューの追加



ストリートビューも同様に保存することができます。右下の人形（ペグマン）を引っ張り、水色の線や点のところに落とすと、ストリートビューに切り替わります。

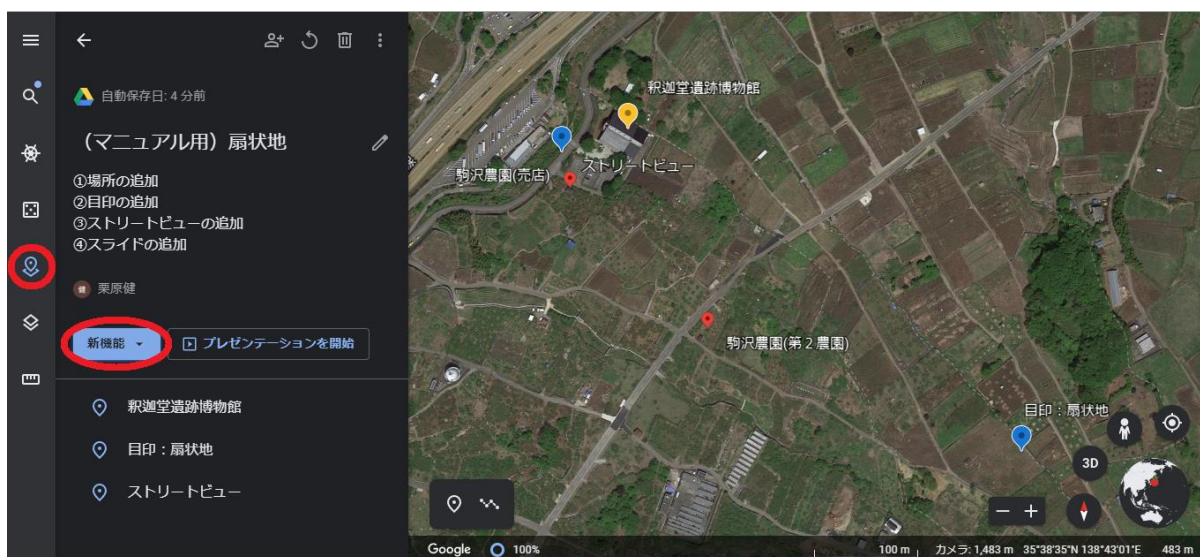


左下の「このビューをキャプチャ」から保存します。

これら「検索した場所」「任意の位置・角度（目印）」「ストリートビュー」のほか、「ライン」「シェイプ」も保存することができます。詳しい方法は以下の公式チュートリアルをご覧ください。

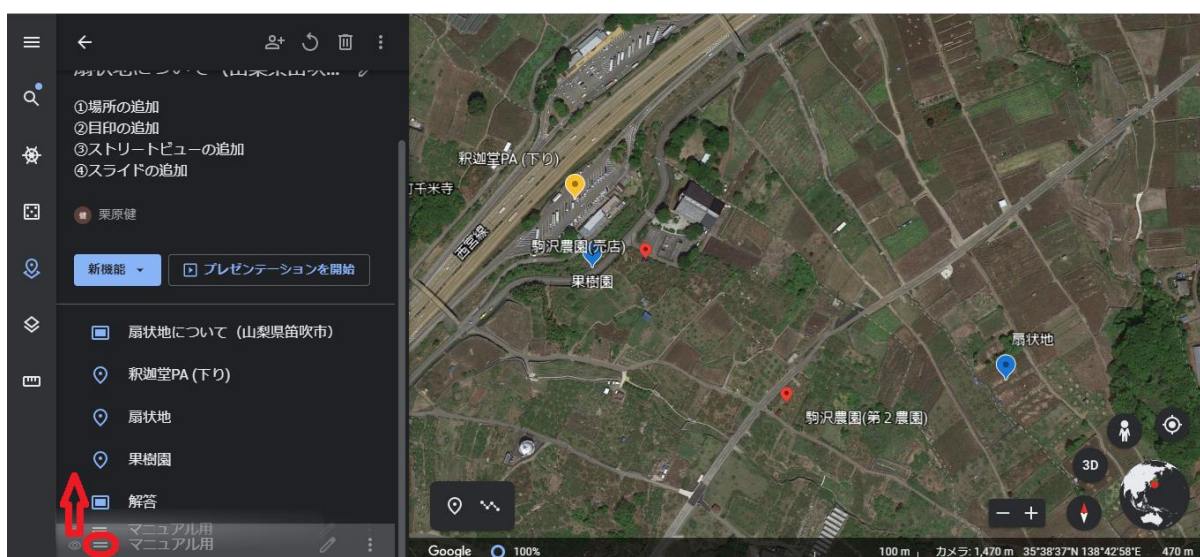
<https://youtu.be/-XcLcF-huCo>

5. スライドの追加



プレゼンテーションで最初に表示される画面や、話題の切り替え部分などを作りたい場合、スライドを追加します。

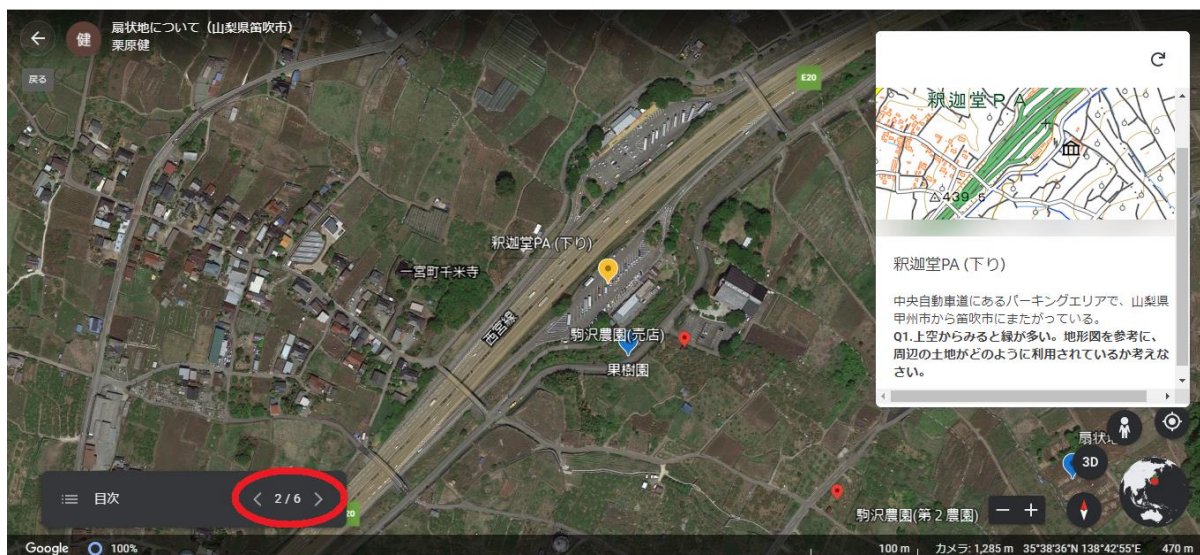
プロジェクトメニューを隠していた場合は、もう一度左のプロジェクトのボタンを押してください。「新機能」から「全画面スライド」を選ぶことで作成できます。



保存したアイテムの順序は、後で並べ替えることができます。

6. 作成したプレゼンテーションの開始と共有

(1) 開始



「プレゼンテーションを開始」を押すと、つくったものを見ることができます。左下のボタンでアイテムが切り替わります。プレゼンテーション中に場所や角度を自由に変えることもできます。

(2) 共有



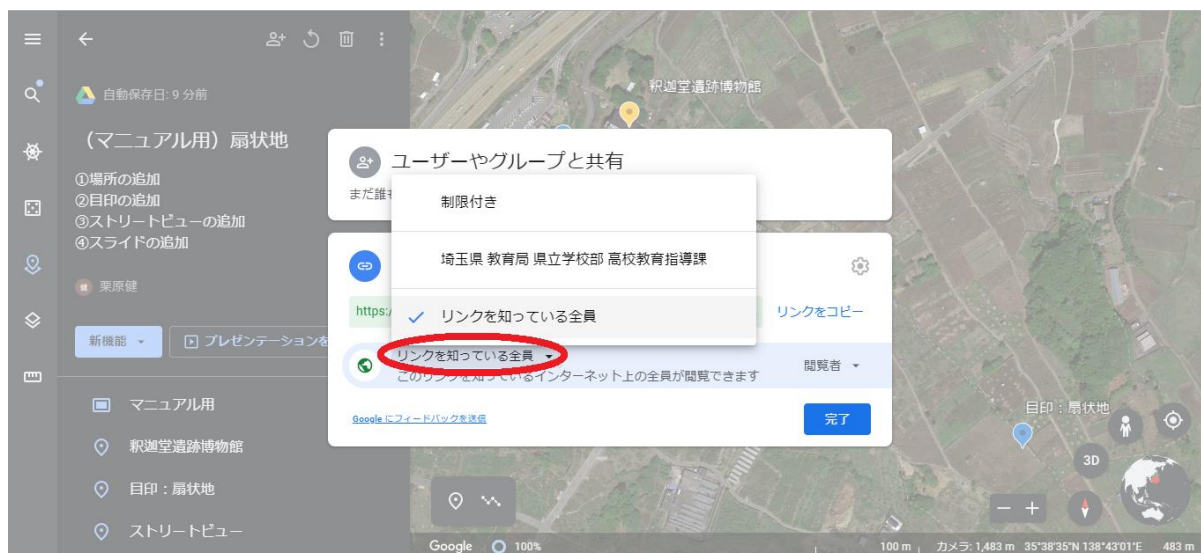
左上の+アイコンを押し、「続行」→「リンクをコピー」を押すと、このプロジェクトのURLがコピーされます。他の人はそのURLから閲覧が可能になります。

* 一般のGoogleアカウントの方へ

初期設定では、閲覧権限が「追加されたユーザーのみ」になっています。下部の「リンクを知っている全員に変更」を押すことで、URLを知っている全員が閲覧可能になります。

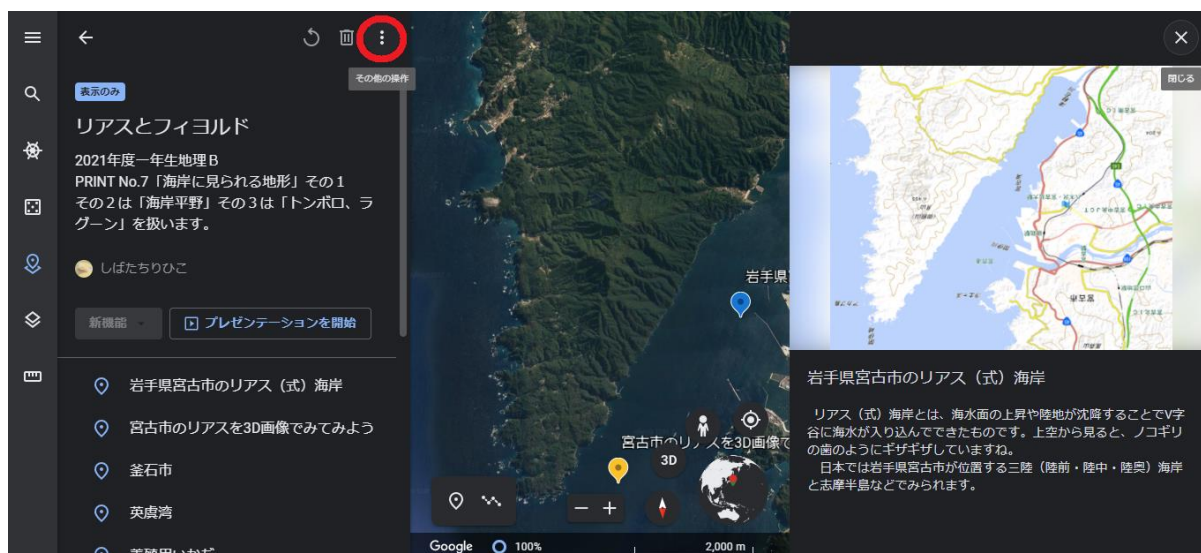
*stアカウントを使う埼玉県の先生へ

初期設定では、stアカウントで作成した場合、stアカウントを持つ人だけが閲覧可能になっています。URLを知っている全員が閲覧可能にするには、下部の「変更」を押して権限を変更してください。



この部分を「リンクを知っている全員」に変更して、リンクをコピーしてください。

7. プロジェクトのコピー



他の人のプロジェクトを閲覧すると、プロジェクトメニューの「履歴」に表示されます。それを開いて上の「その他の操作」から「プロジェクトのコピー」ができます。コピーすることで、自分のプロジェクトとして変更を加えることが可能です（改変しての利用については作成者にご確認ください）。